

2021 年度第 6 回価格審査会の開催について

2021 年度第 6 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2021 年 9 月 14 日(火) ～16 日 (木)	
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が引き続き必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	橋本 雅宏	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：今井 豊
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2021 年度第 5 価格審査会議事録(案) 確認

2021 年度第 6 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」10月号、「Web 建設物価」10月号、「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の価格動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・価格が上伸した資材（工事費） <p>【Web 建設物価】</p> <p>月積み契約分鉄鋼販売価格 形鋼、鋼矢板、鋼管ぐい・鋼管矢板、鋼管(全国)、異形棒鋼(新潟)、ねじ節鉄筋(新潟)、H形鋼(全都市)、等辺山形鋼(全都市)、カラーリップ溝形鋼(全都市)、デッキプレート(全都市)、鋼板(全都市)、切板(全都市)、コラム(全都市)、ステンレス鋼(全都市)、溶融亜鉛めっき鋼板(全地区)、線材製品(北海道地区)、ロックボルト(全地区)、レディーミクストコンクリート(札幌、根室、千歳、中標津、富山、静岡、沼津、御殿場、小山町、豊田、名護A、名護B、国頭A、国頭B、東)、コンクリート用骨材(室蘭、北見、網走、苫小牧、上田、佐久、五泉、阿賀野、阿賀、静岡、沼津、藤枝、熊野A、熊野B、大野、京都A、福知山、舞鶴、宇治、宮津、亀岡、京丹後、南丹、木津川、神戸、明石、西宮、洲本、川西、三田、松江、出雲、大田、安来、三次、庄原、高松、丸亀、坂出、観音寺、須崎、四万十、八代、水俣)、再生砕石類(上田、佐久、高知、安芸、須崎、四万十)、仮設・土木用木材(全都市)、一般建築用木材(全都市)、枠組足場(全地区)、単管足場類(全地区)、コンクリート型枠用合板(全都市)、金属製型枠パネル(全地区)、アスファルト混合物(札幌、室蘭、釧路、網走、稚内、</p>

沼津、御殿場、伊勢、松阪、熊野A、熊野B、福井、小浜、大野、越前)、ストレートアスファルト(那覇)、遮音壁規格統一型(全地区)、鋼製グレーチング(全地区)、普通合板(全都市)、配管用ステンレス鋼管継手(全地区)ほか

【土木コスト情報】

防護柵設置工(全国)、道路標識設置工(全国)、橋梁塗装工(全国)、構造物とりこわし工(全国)、コンクリート積ブロック工(全国)ほか

【建築コスト情報】

土工事(全都市)、木工事(東京、大阪、名古屋)ほか

- ・ 価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

伸銅品(全都市)、軽油ローリー(全地区)、鉄スクラップ(全都市)ほか

【土木コスト情報】

鉄筋工(北海道)

【建築コスト情報】

鉄筋工事(札幌、那覇)、型枠工事(四国の各都市)

2. 比較資料

- ・ 企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	鉄鋼系資材の上伸状況を概観すると、限定都市のみで上伸した異形棒鋼、ねじ節鉄筋(共に新潟地区のみで上伸)及び一般構造用丸鋼(福岡地区のみで上伸)と、比較的全国の多くの地区で上伸したH形鋼、等辺山形鋼、溝形鋼、不等辺山形鋼、I形鋼材及び鋼板等の2グループに大別される。そして、前者は電炉品、後者は高炉あるいは電炉品と認識される。ここで、先月以降、電炉材料の鉄スクラップは下落傾向を示しているため、後者グループの上伸理由は高炉製品の原料(鉄鉱石)価格が主な原因か。それとも約半年前から続伸していた鉄スクラップ上伸の影響を反映した電炉製品価格高騰の影響が大きいのか。	異形棒鋼は電炉品である。原料の鉄スクラップが今月値下がりしたが、依然高値で推移しており、電炉メーカーは引き続き値上げに取り組んでいる。ただ、鉄スクラップの値下がりから需要家は値上げに抵抗しており、新潟地区のみの上伸となった。形鋼や鋼板などの市中品は、電炉品と高炉品が混在している。電炉、高炉メーカーとも、原料の鉄スクラップや鉄鉱石の高値推移を背景に値上げ姿勢を続けており、全国的に上伸した。

<p>質問2</p>	<p>建築工事市場単価の鉄筋工事（鉄筋加工組立）と型枠工事（普通合板型枠）は、工種は異なるが、どちらも階高3.5～4.0m程度のラーメン構造工事規模を対象としている。これらの東京地区の概況説明では、需要は低調に推移して盛り上がりや欠きを、専門工事業者と総合工事業者の価格交渉は平行線をたどるといった、似たような内容であるが、最後のコメント部分が、前者では「先行き、弱含みの見通し」、後者では「先行き、横ばいの公算大」と少々異なった判断になっている。それぞれの工種の事情を考慮して判断したこととして、これらのコメント表現は妥当であるとして良いか。</p>	<p>中小規模の建築物が振るわないことから、両工種ともに需要は低調に推移している。こうしたなか、取引価格に材料費を含まない鉄筋組立加工は、総合建設業者の値下げ要求の強まりを背景に先行き弱含みとなった。一方、取引価格に材料費を含む普通合板型枠は、材料費上昇分を価格に反映したい専門工事業者の値上げに対し総合工事業者が抵抗を続けており、先行き横ばいとなった。こうした状況の違いから、両工種で異なる先行き気配となっている。</p>
<p>質問3</p>	<p>レディーミクストコンクリートの札幌地区の上伸が突出しているが、ここに来て、打ち出し額が浸透した背景は何か。</p>	<p>札幌地区では今後、北海道新幹線工事や駅前再開発工事などの大型案件が控えている。こうした状況のなか、協組が強い売り腰で値上げ交渉を進め、需要家は安定調達を優先し打ち出し額を受け入れた。</p>
<p>質問4</p>	<p>建築工事市場単価の動向を見ると、仙台地区が、他都市に比べ高くなっており、鉄筋工は東京地区よりも高い水準となっている。建設工事の物価は、東京地区より高くはないと思われるが、コンクリート・鉄筋に係る工事はこのように高止まりしている状況なのか。</p>	<p>鉄筋加工組立は、需給緩和により全国で段階的に下落してきたが、仙台地区は需給緩和の影響が他地区よりやや少ないことなどから、東京地区よりも高い水準が続いている。コンクリート打設は、全国的に横ばいが続いており、仙台地区の価格は東京地区よりも低い水準にある。型枠工事は全国的に下落傾向で、仙台地区の価格は東京地区より若干低い水準にある。</p>

<p>質問 5</p>	<p>ラワン合板の東京地区価格は、建設物価は 6 月以降上昇となっているが、業界紙は先月・先々月は横ばい、今月は微増であり、上昇はしているものの傾向は同じではないと思われる。グラフをみるとかなり差がついてきているが問題はないのか。</p>	<p>当会のラワン合板は、国内でも流通量の多い輸入合板を対象としている。輸入合板は、昨年末から現地の原木不足や労働者不足から上伸している。最近の東南アジアの新型コロナ感染の再拡大に伴い、現地のロックダウンの影響から入荷が増える可能性は低く、強含みの見通しである。</p> <p>また、世界的なウッドショックを背景に、当会、発表の臨時速報においても、全国の木材価格(輸入材)は、2021 年 4 月号から高騰しており、国産材、輸入材を問わず大幅上伸している。</p> <p>ご指摘のとおり、過去の業界紙の過去の価格推移をみると反映時期の違いなども考えられ、2021 年度に入っても、6 カ月で 100 円/枚程度の上伸にとどまっている。逆の傾向ではなく問題はないが、引き続き動向を注視します。</p>
<p>質問 6</p>	<p>異形棒鋼、ねじ筋鉄筋の新潟地区で、「鉄スクラップの高値を受けてメーカーが値上げし、販売店も追従した結果、新潟地区で続伸」とあるが、鉄スクラップは、新潟市も含めて全国的に 2 か月連続で下落している。新潟地区のみ上昇する理由が外にあるのではないか。</p>	<p>鉄スクラップ価格は、小幅続落したが依然高値で推移しているため、メーカーは値上げ姿勢を崩していない。各地区の売り手と買い手の姿勢の若干の違いにより今月は新潟地区のみ上伸したが、全国的に強含みとなっている。</p>
<p>質問 7</p>	<p>亀岡地区で割ぐり石 (50~150mm) が 1,000 円の上伸となっているが、この地区でこれだけの上げ幅となった理由は何か。</p>	<p>製造・輸送コスト増を理由として、メーカーが砕石類全般について打ち出した値上げが浸透し上伸した。以前から採算が悪かった割栗石について、他の規格より値上げ幅を大きくしたため、大幅上伸となった。</p>
<p>質問 8</p>	<p>コンクリート製透水管が大阪地区において、上伸・下落が混在している理由は何か。</p>	<p>上伸、下落ともポリコンパイプである。メーカーの値上げ浸透により大半の規格が上伸したが、メーカーは価格体系の変更も行ったため、径 200 と径 400 の 2 規格は下落した。</p>
<p>質問 9</p>	<p>鉄スクラップは、全般的にみると鉄製品の価格は上伸傾向にあるようだが、同じ鉄スクラップでも「ステンレス」は上昇になっているのに対して、「鉄」のコメントには「製品メーカーの購入価格引き下げを背景に～」とある。「鉄」スクラップの需要が少ない理由は何か。</p>	<p>海外での新型コロナウイルス感染拡大による輸出向け需要の低迷や国内電炉メーカーの夏季減産などで市中に荷余り感が台頭し、輸出業者、電炉メーカーともに購入価格を引き下げたことで、今月下旬下落した。</p>

審議結果	「建設物価」10月号、「Web 建設物価」10月号、「土木コスト情報」秋号、「建築コスト情報」秋号の価格動向に問題はなかった。
------	---

以 上